

広報 入善 人ゆうぜん

No. 320

昭和59年4月1日発行

毎月1回 1日発行

発行所 入善町役場

富山県入善町入膳3255

☎0765-72-1100(〒939-06)



ふれあい
シリーズ

旅立ちの春……。

小中生858人が巣立つ

春は旅立ちの季節ですね。今月の表紙は、3月17日に行われた入善西中学校の卒業風景です。

恩師や在校生に見送られながら、3年間の思い出と明日への希望を胸に、元気よく巣立っていきました。

□小中学校の卒業生数/小学校・431人/中学校・427人

4月号

町民のニーズにこたえる

55億6,400万円 (一般会計)

入善町の今年の町づくりの基本となる昭和59年度予算が決まり、4月からスタートします。

予算は、私たちの暮らしに密接なつながりがあり、今年1年間の「生活の設計図」ともいえます。今月は、この新年度予算のあらましについて紹介いたします。

厳しさの中にも 明るさを求めて

前年比で3.6%ダウン

昭和59年度の入善町予算は、町税の実質的な伸び悩み、地方交付税の減額、マイナスイノベーションによる補助事業の削減など、今までにない厳しい財政環境下で、編成作業が進められました。

しかし、厳しさの中にも明るさを求めて、住民ニーズにこたえるよう最大限の努力をしました。

この結果、一般会計では55億6400万円となり、前年度に比較して2億650万円の減、率にして3.6%落ち込みました。

昨年比べて減額となったのは、老人福祉センター、社会体育館、青木保育所の建設や、農村総合整備モデル事業などが58年度で終了したためです。

また、国民健康保険など6特別

会計は25億6212万円、予算総額は81億2612万円(前年比0.5%減)となりました。

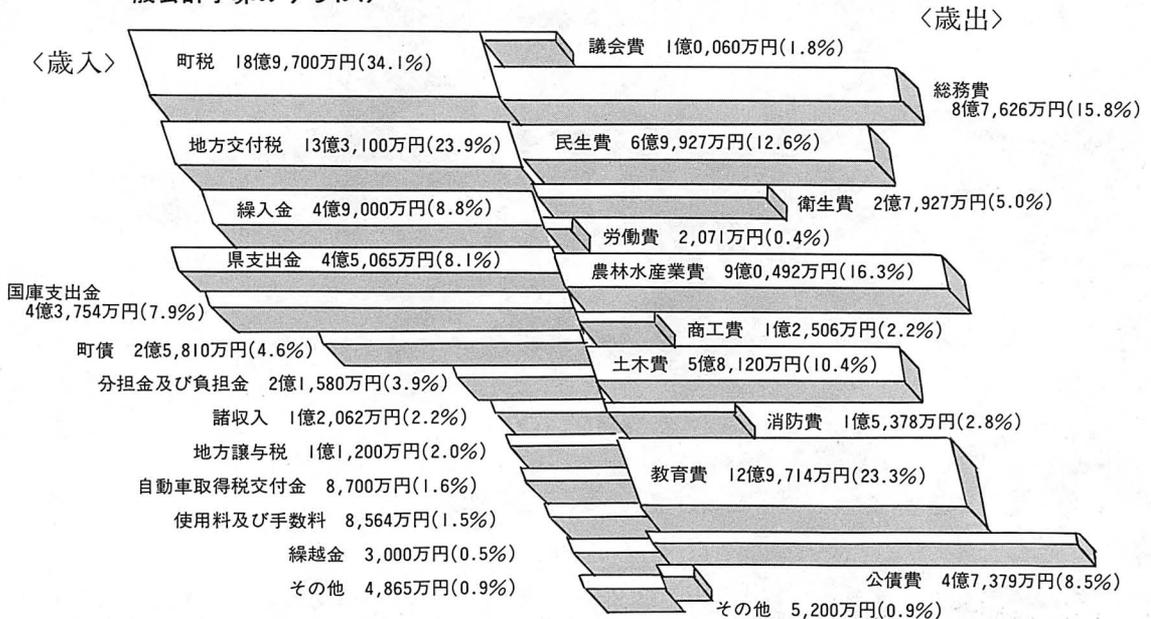
飯野小学校や

幼稚園、**公園の整備**

新年度は、ハード面で飯野小学校、駅南団地の建設や、幼稚園のま遺跡整備などの大型事業を予定しており、一般会計に占める投資的経費の割合が、35.8%となりました。

ソフト面では「開かれた町政」の一環として、町が持っているさまざまな情報を町民に広く公開する「情報公開制度」の実施を目指します(7ページに関連記事)。

●一般会計予算のうちわけ



59年度予算 スタート!

町政執行の 基本的姿勢

① 新総合計画に基づいて

「活力とうるおいに満ちた文化のまち入善」を将来像とする総合計画に基づき、投資的事業を積極的に組み入れました。

② 健全財政を堅持

● 事業の優先度、緊急性を考え、予算の効率的配分にあたりました。
● 公債比率が上昇しないよう極力配慮しました。
● 事務・事業の効果を検討し、最少の経費で最大の効果をあげるよう経費の節減に努めました。

今年はこのことをします……

『健康と生きがいのあるまち』
飯野小学校や
じょうべのま遺跡を整備

▼ 老人福祉センターの環境整備

58年度に建設した老人福祉センターに、ゲートボール場の設置や、緑地公園など環境を整備します。
(1080万円)

▼ 在宅老人への福祉事業

給食・寝具・入浴サービスの提供を初め、火災報知器・不良電気配線点検整備の補助、家庭奉仕員の派遣、ねたきり老人短期保護な

▼ 心身障害者福祉

今年度から障害者スポーツ大会を開催。また従来どおり、町単独で重度心身障害者福祉年金、福祉タクシーなどを増額して助成しま

▼ 西中学校にナイター設備を

学校開放の一環として、入善西中学校にソフトボール専用の夜間照明施設を新設します。また、既

▼ じょうべのま遺跡を公園化

今年度から3か年計画で、総事業費1億円を投じて環境整備します。
(3263万円)

どを引き続き実施します。

(2147万円)

▼ 児童館に改装

老人憩いの家を改装して、児童館として独立させ、スポーツや読書ができるようにします。
(1600万円)

す。(589万円)

▼ 飯野小学校を建設

今年度から3か年の継続事業。鉄骨造2階建て、延べ5324㎡の校舎を59・60年度で、また体育館は61年度に建設。全体で14億2000万円を投じます。

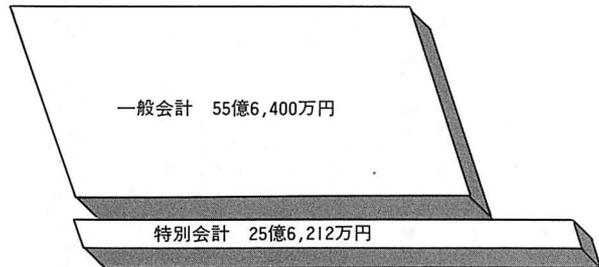
設の学校夜間照明も増設します。
(3300万円)

▼ 町民会館用地を取得

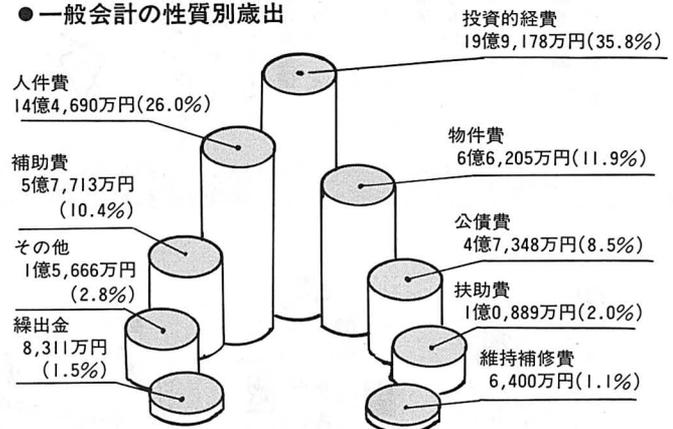
昨年、用地取得ができなかったため、今年度改めて計上したものの、用地取得が解決次第、早急に建設費を補正して着工します。

● 全部でこれだけです

総額 81億2,612万円



● 一般会計の性質別歳出



『快適でやさしい生活のあるまち』

道路整備や

駅南団地を建設

▼農免農道整備事業

西部地区は、板屋・下上野間4500㌔の道路を改良拡幅するもので、第1期工事として、板屋・青木間2300㌔のうち、500㌔を着工します。(6970万円) また、東部地区は、藤原・東五

十里間2410㌔の用地買収を進め、60年度から本格的な工事に着手します。(3033万円)

▼農村基盤整備事業

農村総合整備モデル事業の完了にともない、ポストモデル事業として、横山地区を中心に道路、水

路、消雪工、防護柵などを整備します。(1688万円)

▼林道中谷線を開設

延長2500㌔のうち、58年度まで1760㌔を開設。今年度は新たに500㌔を開設し、60年度に完了の予定。(3718万円)

▼君島栴山寺線を新設改良

延長913㌔、幅員18㌔の基幹道路を新設するため、用地買収と工事にあたります。(1470万円)

▼柴垣邑町線の改良

上青小学校の通学道路として、延長1200㌔、幅員10㌔に改良拡幅。今年度も用地取得、物件移

転に取り組みます。(3330万円)

▼無雪害街づくり事業

県の補助を受け、また町単事業で、入膳市街地を中心に除排雪施設を整備します。(6891万円)

▼運動公園を整備

51年度から整備してきた運動公園は、今年度の外周園路(野球場周辺)の整備をもって完了となります。(2060万円)

▼駅南団地を建設

56年度からの継続事業で、今年が最終年度。中層耐火構造3階建て、1棟12戸を建設します。(1億2726万円)

今年はこんなことをします

『活力と魅力のあるまち』

農・工・商・漁業の

積極的な推進を

▼水編第3期対策への補助

良質米の生産拡大を図る一方、転作農家へ奨励金を補助します。(4211万円)

▼新地域農業生産総合事業

転作対応の一環として、大豆や米麦種子専用機械を導入します。

▼集落農業構造改善事業

荒又地区に堆きゅう肥舎を建て、近代化機械を整備します。

▼地域農業集団育成事業

地域ぐるみで農用地の利用調整

活動を行う集落営農の展開、中核的農家の育成・生産組織の強化など、地域全体で生産性の高い農業を促進します。(300万円)

▼林道の補修・整備

緑資源の造成や林道事業など、生産基盤を整備。(786万円)

▼地域沿岸漁業構造改善事業

荷さばき所の建設費を助成するなど、育てる漁業の推進、漁港施設を充実します。(1920万円)

▼東防波堤を築造

入善漁港に東防波堤と護岸堤を改良整備します。(5179万円)

▼離岸堤を設置

海岸保全事業として、芦崎地先に離岸堤63㌔を設置します。(1億5731万円)

▼駅前に自転車置き場を整備

入善駅の西側に用地を確保し、自転車置き場2棟を建てます。(1800万円)

▼企業立地促進事業

福島地内の異業種工業団地周辺に、排水路を整備します。(600万円)

▼舟見山自然公園を整備

自然公園周辺の道路を整備します。(300万円)

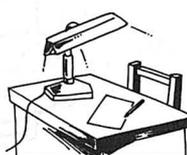
●町民一人が負担する税金は？.....合計で63,545円



町民税 30,126円



固定資産税 25,096円



電気税 4,227円



町たばこ消費税 3,249円



軽自動車税 795円

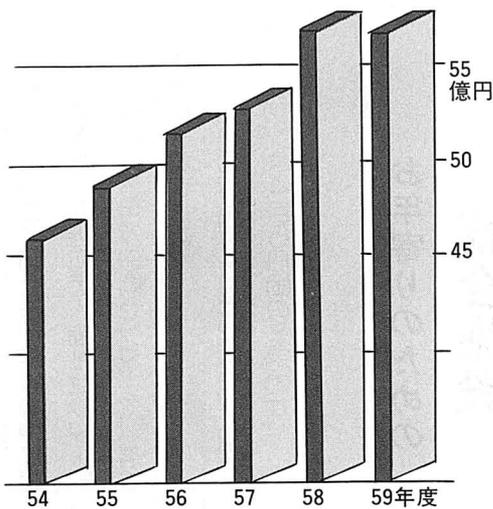
一般会計予算の 移り変わり

厳しい財政状況

55億6,400万円——。国・県の行財政改革、最近における経済の低成長といった影響を受けて、対前年比で3.6パーセント減となりました。

しかし、町民の生活に欠かせない福祉・教育の充実や道路整備など、町行政は一步も後退することはできません。

町民のニーズに応えるための各種事業・施策の財源が多く見込まれない以上、出ていくお金「歳出」の節減・合理化に、今後とも一層の努力が必要です。



▼情報公開制度の準備
町が持っている多種多様な情報を条例により、積極的に公開するもので、議会の同意を得て今年度中に実施したい意向です。

▼住居表示を検討
都市部で採用されている住居表示の実施に向けて、今年度から検討に入ります。なお、住居表示の対象地区は、当面は入膳市街地の

▼コミュニティ施設を整備
上田地区を「コミュニティ活動実践地区」に指定し、地区コミュニティセンターを建設するなど、子どもからお年寄りまで互いに触れ合えるような環境をつくりたい。(1630万円)

▼町政懇談会や町長と語る会を開催
町民の要望や意見を町政に反映させるため、各地区に向いて懇談会を開きます。(78万円)

『参加とふれあいのあるまち』
情報公開制度の準備や
「コミュニティ活動を推進」

◇◇◇◇◇
今年はこのことをします
◇◇◇◇◇

みです。(50万円)
▼コンピュータを導入
オフィスコンピュータ2台を備えるなど、事務の機械化を進めながら、住民サービスに応えます。(400万円)

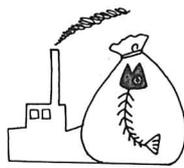
▼広報にゆうぜんの充実
情報公開制度とタイアップしながら、町民と町とのパイプ役である広報にゆうぜんを中心に、広報活動を充実させます。(592万円)

●一人当たりに使われるお金は？.....合計で186,380円

消 防 費
5,151円



ゴミ・し尿
の収集
2,860円



お年寄り
(65歳以上)
17,980円



小・中学校
児童生徒
83,918円



保育所園児
385,308円





老人福祉センターが完成

4月6日、オープン

昨年7月から、旧上青中学校跡地に建設してきた「入善町老人福祉センター」が完成し、3月27日同センターで、落成式が行われました。

現在、開館に向けて準備を進めており、オープンは4月6日(金)の予定です。

お年寄りのための 総合施設

「老人福祉センター」は、お年寄りのみなさんに、健康で明るい生活と生きがいを持っていただくため、健康の増進、教養の向上、レクリエーションなどの便を、総合的に提供する施設です。完成した建物は、鉄筋コンクリート造平屋建てで、総工費は約2億6000万円。

健康増進施設として、健康相談室、機能回復訓練室、また教養・娯楽施設としては、集會室、創作活動室、図書室、浴室(大小2)などがあります。

なお、これまで勤労者福祉センター内にあった町社会福祉協議会は4月から老人福祉センターに移ります。☎72-5686

申込み 団体利用のかたは、予約してください。1か月前から受け付けます。個人利用のかたは、当日窓口でお申し込みください。

利用時間 午前9時～午後4時

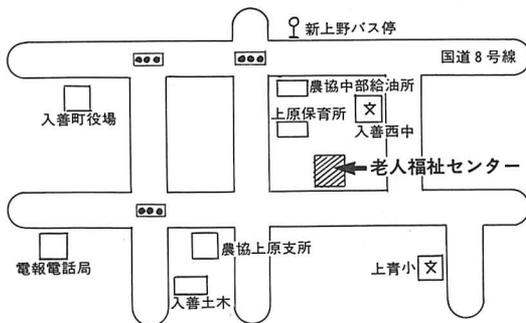
休館日 火曜日・国民の祝日の翌日・年末年始(12月29日～1月3日)

使用料

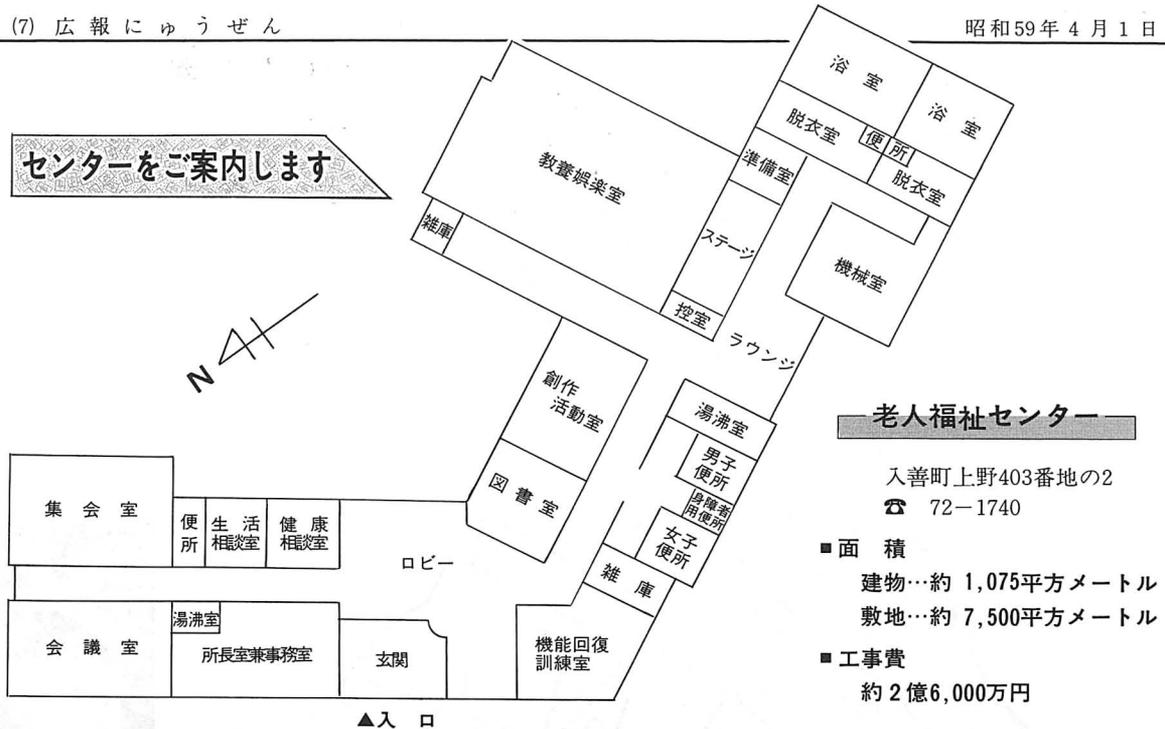
入所料 (1人1日)	老人 200円、その他の人 300円			
個室 使用料 (1回)	生活相談室	800円	会議室	3,000円
	健康相談室	800円	集會室	3,000円
	図書室	1,200円	教養娯楽室	10,000円
	創作活動室	2,500円		

▷ 社会福祉団体・社会教育団体などが、会議や研修目的で個室を使用する場合は、無料になります。

センター位置図



センターをご案内します



老人福祉センター

入善町上野403番地の2
☎ 72-1740

■面積

建物…約 1,075平方メートル
敷地…約 7,500平方メートル

■工事費

約 2億6,000万円

情報公開の
取り組み経過

昭和57年

- 3月・町長、条例制定の意向を議会で表明
- 4月・職員が、全国初の実施団体山形県金山町へ視察
- 6月・第1回検討委員会
- 9月・第2回検討委員会
- 10月・役場内公文書調査

昭和58年

- 2月・実施団体の資料照会完了
- 5月・第3回検討委員会
- 6月・第4回検討委員会
・町長、条例化のスケジュールを議会で発表
- 7～8月・住民アンケート調査
- 9月・第5回検討委員会
- 11月・議会総務委員協議会
・議会決算特別委員会、広島県府中町へ視察

昭和59年

- 1月・第6回検討委員会
・議会全員協議会で、条例素案を説明
- 2月・議会、福岡県春日市へ視察
- 3月・町長、3月定例町議会で条例案を提案
・議会、6月までの継続審査として議決

情報公開

6月まで継続審議

3月定例議会で決定

町が、今年4月実施を目指して準備を進めてきた「入善町情報公開条例案」は、3月定例町議会に提案されたものの、「6月定例議会まで、閉会中の継続審査とする」ことが議決され、条例の4月実施は見送りとなりました。

「審議が足りない」

議会総務委

今議会会期中、議会総務委員会を中心に、慎重な審議が重ねられた結果、「重要な問題だが、議会で十分審議する期間がなかったの

で、6月定例議会まで、閉会中の継続審査にすべきである」との意見が出されました。そして、議会最終日の3月21日、本会議で採択の結果、「継続審査」の意見に対して、賛成17人、反対3人の賛成多数で、情報公開条例案の継続審査を可決しました。

本会議で採択の結果、「継続審査」の意見に対して、賛成17人、反対3人の賛成多数で、情報公開条例案の継続審査を可決しました。

今後は、議会

町民への理解を

町は、開かれた町政の一環として、「町民の理解と共感が得られる行政運営、町民とともに学び、考える町づくり、さらに町民の知る権利を保障し、町民参加型の町政」を確立するため、57年4月から「情報公開制度の59年4月実施」を目指して、鋭意取り組んできました。

柚木町長は、「非常に残念ですが、新しいものを生み出すための試練と受け止めています。しかし条例案が否決されたわけではないので、6月まで議会や町民のみならず、理解と協力が得られるよう努力していきたい」と話しています。

入善町防災地図

〔凡例〕

- 避難所
- 避難路
- ◎ 役場庁舎
- ① 消防署、屯所
- × 警察署、駐在所

※ 広報を全部読み終えたら
防災記事を見やすいところに貼っておきましょう。



番号	避難施設名
26	中央公民館
27	農村環境改善センター
28	南部コミュニティセンター
29	柵山公民館
30	漁村センター
31	舟見コミュニティ公民館
32	農村婦人の家

33	武村福祉会館
34	勤労者福祉センター
35	児童館
36	老人福祉センター

番号	避難施設名
1	東部保保保育所
2	西部保保保育所
3	南部保保保育所
4	吉原保保保育所
5	吉原保保保育所
6	青木保保保育所
7	飯野保保保育所
8	芦崎保保保育所
9	小摺戸保保保育所
10	新櫛屋保保保育所
11	櫛山保保保育所
12	横山保保保育所
13	舟見保保保育所
14	野中保保保育所
15	入善保保保育所
16	上飯野保保保育所
17	青山保保保育所
18	黒山保保保育所
19	柵山保保保育所
20	横舟保保保育所
21	野見保保保育所
22	入善西中学校
23	入善西中学校
24	入善西中学校
25	舟見保保保育所

新防災計画を

作成

本町の防災計画は昭和40年に作成され、18年余り経過しました。この間の社会経済情勢の変化で災害も多様化し、時代に適合した計画に見直すため、58年4月から作業に入り、59年2月に入善町防災会議が開催され、新防災計画が承認されました。

59年度からは、この計画に基づき、防災訓練の実施や防災行政無線の整備など、防災体制の強化を図っていくことになりました。計画は、総則、災害予防、災害応急対策、災害復旧の4章で構成されています。計画を机上の空論に終らせないように訓練、啓蒙などを実施し、防災体制の推進に努めなければなりません。

大切な

家庭防災

防災は、個人（家庭）のレベルですべきことと、行政のレベルですべきことがうまく分担され、しかもうまくかみ合っていないなければなりません。災害による生命の危険は、個人の対応に負う部分も少なくありません。



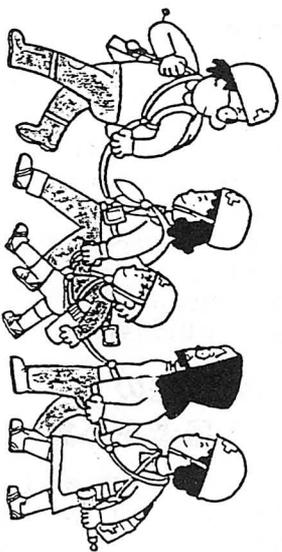
いざという時のために……

月に一度は

家庭防災会議

日ごろから家庭レベルでの防災について家族で話し合い、いざという時に備えて家族それぞれの役割を分担しておきましょう。また夜間の停電時、家族が通勤・通学で離れ離れになっている昼間などで、災害時をいろいろ想定し、話し合っておくことも大切です。

- ・ 避難所はどこか
- ・ 非常持ち出し品はどうするか
- ・ 家族同士の連絡方法は
- ・ 避難所へはどの道が安全かなどです。



安全に 避難するために

災害が発生し、または発生する恐れがあるとき、町は危険があると認める区域住民に対し、避難の勧告、指示を行います。広報車、消防車、テレビ、ラジオ、サイレンなどにより伝達しますから、迅速に避難してください。避難所は、その災害状況により選定しなければならぬので、正確な情報を得て的確な判断を行い、落ち着いた行動が望まれます。

いつ、避難を 始めるか？

- 災害が発生し、周囲にも危険が押し寄せたとき。
- 町から避難の勧告、指示が出されたとき。
- ラジオやテレビの情報で、避難が必要と判断されたとき。
- 消防団員や警察官の指示があったとき。

身軽に 速やかに

- 避難するときは、デマにまどわされず、ラジオ、広報車、防災関係者の指示に従いましょう。
- 隣り近所のかたがたと一緒に行動し、助け合いましょう。
- 持ち出し品は最少限にし、交通障害に注意しましょう。
- ヘルメットなどをかぶり、自由に行動できる服装を。
- 自動車による避難はやめましょう。
- お年寄りや子どもは、特に注意を払いましょう。

非常時の

持ち出し品



- 現金、通帳、印鑑、保険証
- 懐中電燈（予備電池も常備）
- 携帯ラジオ
- 救急医薬品
- その他必要なもの

一致協力して 共同生活を

- 避難所では防災関係者の指示に従い単独行動はやめましょう。
- 集落単位で行動し、隣り近所の人たちと助け合いましょう。
- 災害の危険が去っても、無断で帰宅することはやめましょう。
- 一人一人が生活の秩序を保ち、共同生活の責任と義務をわきまえ、衛生管理に努めましょう。



岡村氏のプロフィール

NHK総合テレビの日曜番組「政治座談会」の司会役でおなじみのベテラン解説委員。

国内政治に関する問題を一手に引き受け、長年にわたり政経ジャーナリストとして現場の第一線に立つなど、その洞察眼、センスは定評のあるところ。

昭和5年、埼玉県生まれ。26年3月早稲田大学商学部卒業、同年NHKに入局。41年から解説委員。

- 4月8日(日) 午後1:30~
福祉会館ホール
入場無料
主催・入善地区労
後援・入善町

NHK 解説委員

岡村和夫氏の

時局講演会

駅南団地の入居者を募集



入居資格

- 入善町に住んでいる人、または住もうとする人。
町内に勤務する人。
所得は必要経費を差し引き、月87,000円以下であること。

申し込み

役場都市計画課へ直接申し込んでください。

家賃……月24,000円。

敷金……家賃の3か月分

町営住宅の入居者を募集

町営住宅への入居希望者を募集しています。この募集は、各住宅団地で今後空家ができ次第、順次入居していただくものです。

入居資格

- 入善町内に住んでいる人、または町内に勤務する人。
現在同居し、または同居しようとする親族のある人。
老人、身体障害者、その他特に居住の安定を図る必要がある人。
公営住宅法に定められた収入以内であること。

申し込みの方法

4月1日から4月10日までの間に入善町役場都市計画課へ直接申し込んでください。

お知らせ



軟式野球の審判員を募集

軟式野球は、最もポピュラーなスポーツとしてみなさんに親しまれていますが、毎年増え続けるチーム数に対応するため、入善町野球協会では審判員を募集しています。
対象：20歳以上のかた(性別は問いません)
集期間：4月末日まで
申込先：入善町野球協会事務局
会津康弘(☎72-5754)

入善町民号の会員を

入善町利用促進協議会では、入善町の利用増進を図るため、昨年に引き続き「入善町民号」を運行します。ご家族で、グループで、友達同士でご参加ください。
期日：5月26日(土)28日(月)泊3日・車中泊含む
行先：伊勢神宮と英虞(あこ)湾
定員：240名
参加費：45000円
申込先：役場商工水産課
72-11100内線81番、または入善町72-10055

おめでた



Table with columns for names and birth dates. Includes names like 住所 保護者, 舟見 林茂雄, 吉原 浜西忠夫, etc.

農作業の 賃金・料金決まる

1. 農作業1日当り賃金
春・秋 男6,500円 女4,800円
その他 女3,500円～女4,200円
※作業時間…7:30～17:30
※時間超過…1時間当り、男810円
女600円
2. 委託料(受託者負担)
10a当り標準 126kg(8.4斗)
3. 耕起・代かき(10a当り)
米(耕起・代かき) 11,000円
麦(耕起・は種・溝切) 11,500円
麦(耕起・溝切) 9,000円
※耕起のみ 6,000円、代かきのみ
7,000円、搬入客土田(耕起・
代かき) 13,000円
4. 天地返し・深耕(^{アースワーク}耕・
10a当り)
春・秋耕…7,000円(春・秋耕
の2回)
春・秋耕・代かき…12,000円
(春・秋耕・代かきの3回)
5. 育苗
成苗1箱 630円(もち、う)
発芽苗1箱 460円(るち共)
6. 田植
10a当り 6,000円(補植なし)
7. 防除(ホース散布)
10a当り 1回 500円
8. 刈取(10a当り)
米…17,500円～22,000円
麦…標準15,500円
9. 運搬料
水稻(玄米1袋・30kg当り)
…105円
大麦(精麦1袋・50kg当り)
…210円
10. 乾燥調整
玄米(玄米30kg1袋) 995円
大麦(1kg) 32円
11. ケイサン散布(10a当り)
1,300円



生産者米価の伸び悩みと生産費の高騰で、標準小作料は据え置き。

標準小作料 が決まりました

3年ごとに改定される「標準小作料」が、今年4月から引き上げられる予定でしたが、今回は据え置きとなりました。

- その理由として、
- ①…現状を的確にとらえる。
 - ②…農地の流動化を促進する。
 - ③…貸し手、借り手の双方が、納

- ④…海岸などの地域において、不可抗力により収量が著しく減少した場合は、貸し手、借り手の
- ⑤…従来の統制(法制)小作料は、昭和45年9月30日以前からの賃貸借契約については、標準小作料を目安に各地区において協議し、地域の実情に添えるよう設定する。
- ⑥…土地改良費の負担は貸し手、借り手と十分協議のうえ、これを決める。

得する小作料とする。などがあげられます。また、今回の料金据え置きにあたり、次のことが付け加えられています。

①…生産者米価の大幅な値上げが望まれない反面、諸物価と賃金が値上がりし、生産費の高騰が続いている中で、小作料の引き上げは望めない。

■ 標準小作料 (59年4月～62年3月)

農地の区分	10a当り標準小作料	備考
上	32,000円	収量 538kg(約9.0俵)
中	27,000円	収量 521kg(約8.7俵)
下	22,000円	収量 504kg(約8.4俵)

双方が協議し、納得する小作料まで減額する。

(3月15日受付分まで)

住所	氏名	年齢	世帯主
住野所	氏名	87	菊世
芦崎	大西 朔郎	83	本菊
吉原	福島仙次郎	83	本菊
西舟本	優	80	重二
墓ノ木	西島吉太郎	80	本重
若栗新	城崎 良藏	88	久本
神子沢	道又仙太郎	86	本義
小杉	川島 義英	66	本義
入膳	鍋島 義松	72	本義
上飯野	野沢 善次	79	本義
上野	草島 正男	56	本義
上野	野沢 善次	79	本義
芦崎	諸橋 孝	11	八郎
古黒部	広川およし	78	吉郎
舟見	高村 祐助	41	清一
舟見	新田 健作	76	本清
舟膳	川口 正男	80	本清
入膳	五十里啓次郎	74	本清
新屋	堂徳 みよ	51	本清
春日	小城 清松	65	本清
春日	清水 みよ	93	本清
春日	高見 ふじ	84	本清
春日	永井 勝島	76	本清
春日	小森 幸男	71	本清
舟見	木下 幸男	58	本清
舟見	小森 幸男	71	本清
上野	宝田ヨシエ	69	本清
上野	兼松 隆次郎	48	本清
上野	金沢 兼松	79	本清



最優秀賞に、小林さんの作品(一般)

小中生の部は、吉島さん

柏原兵三作品の読書感想文コンクール

本町出身の芥川賞作家・故柏原兵三氏の文学碑建立を

記念して、氏の作品の読書感想文コンクールがこのほ

で行われ、一般の部で小林田鶴子さん(新屋)、小中

学生の部では吉島伸子さん(上青小5年)の作品を最

優秀賞に選ぶなど、入賞作18点が決まりました。

町内外から51点(一般・31点、小中学生20点)の応募

があり、このうち、町内から25点の作品が寄せられま

した。

読書感想文の入賞者

●一般の部(11点)

- 1位 小林田鶴子(新屋)
- 2位 沢辺 敏江(富山市)
- 3位 斉木 薫(小杉町)
- ” 中田 弘子(富山市)
- ” 若栗 清子(富山市)
- 佳作 伊東 恵子(黒部市)
- ” 上村 キヨ(富山市)
- ” 鈴木たか子(吉原)
- ” 田中 君子(入膳)
- ” 平井 良一(大山町)
- ” 渡辺富美子(富山市)

●小中学生の部(7点)

- 1位 吉島 伸子(上青小5年)
- 2位 竹内 尊信(入中2年)
- 3位 谷川 貴一(芝園中1年)
- 佳作 込尾 多喜(入中3年)
- ” 竹内 里奈(上青小5年)
- ” 名越真紀子(山崎小5年)
- ” 松田 潤子(上青小6年)

我が蒲団譚

柏原 兵三 「毛布譚」を読んで



小林田鶴子さん (新屋・38歳)

実家の父より、めったに手に入らない英国製の毛布をもらい、それが夫へ、夫の母へ、夫の弟や嫁へと回って雅子の手許に戻ってくるが、ついに息子の外套となり、最後には屑屋に払い下げられるという物語である。

これを読んで私は、10年前のあの出来事を思い出した。大学を卒業後、しばらく都会で働き、入善へお嫁に来たころのことである。私が「あなたの持って来た蒲団はとても良い物だから、客用に取っておいたら」と言うのである。突然のことではびくりして黙ったままであった。再び聞き返した姑に「今のままでいいです」と断わると、今度は、姑の方がショックで驚いた眼で見ている。私の実家の母は、嫁入り蒲団を用意するのに、見栄えのする緞子ではなく、「軽くて暖かい」モス

の蒲団にした。田舎に戻る娘へ、少しでも暖かくとの親心であったと思う。その他にもう一組の客用蒲団も準備してくれた。当時は、あまり泊り客も多くない家に、何組もの夜具を用意しようとする姑の心は、どうしても理解できなかった。

物語の中の雅子(兵三の母)は、私と違って、自分のことを後回しにして、他人に先を譲る性質だから、毛布を独占することはできなかったのだ。それでも「あのようすばらしい毛布は、どんなにお金を積んでも絶対に手に入らない」と思うと、「あの時の父の意を体して自分の毛布に使えばよかった」と何度となく後悔するのである。

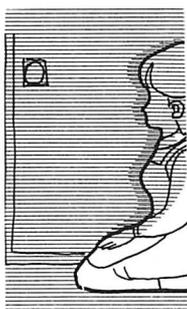
戦前、戦後の受けた教育による違いなのか、気随な私の性格によるものなのか、私には雅子の真似はできなかったのである。

東京山の手で厳しく躾られた雅子は、自分の行動を「心を潔らかに保たなければならぬ」と反省する。道徳心の高い女性であったと思われる。彼女は、家や夫、その家族、子どものための毎日であって、自分はいつも後回しになって

しまふ。その自己犠牲の姿の尊さが、子ども(兵三)へ良い影響となって表われずにおかないだろう。(中略)

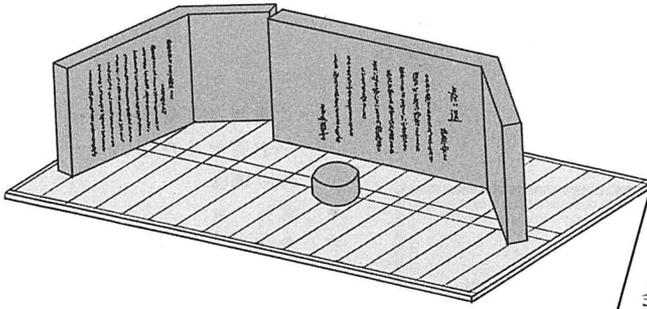
入善町には、このようにしまいだまされた羽毛蒲団が相当数、押し入れに眠っているに違いない。そう考えると、何だか愉快になってくるではないか。「自分のことを後回しにして、良い物をもつたいたい」と思う、入善町の古き母たちの気質を今さらながら有難いと感ずるようになったのは、10年間の姑との付き合いのおかげであろうか。「大学を出た嫁など要らない」と考えていた10年前の姑を驚き、悲しませたモスの蒲団も今は縫い糸がほつれ、綿がはみ出しそうなせんべい蒲団に変わり果てている。

私は、姑が大切にしまっている客用蒲団は結局、使わずにしまっ



しかし、私たちが姑となる時代には、どうなるかわからない。毎日の蒲団として敷かれてしまうのだろうか。それとも、姑や私の心を受け嗣いでくれるのだろうか。

▶上原公園に建てられる「柏原兵三文学碑」



文学碑建立除幕式

4月29日(日) 12:30～ 上原公園(上原小跡地)

記念講演

4月29日(日) 14:00～15:00 老人福祉センター

講師/文芸評論家・西尾幹二氏(柏原兵三氏の友人)

『柏原兵三文学碑除幕式』への招待
 若草もえる季節 各位におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。益々
 さつ、私も柏原兵三文学碑建立発起人会では、昨年
 来、柏原くんの文学碑建立発起人会では、
 きました、その準備も整い、次の日程で「除幕
 式」と「記念講演」を行いたいと思っております。
 町民多数のご来場をお待ちしております。
 発起人会代表 奥田淳爾

明るくなつた

『長い道』



吉島伸子さん (上青小5年)

まっすぐにのびた4幅の道。北アルプスと向かい合つて建っている学校。これが潔少年と歩いた長い道であり、そ開してきた上原小学校です。私と同じ5年生で、昨年閉校になるまで私たちがいた上原小学校です。だから、この「長い道」の本を手にした時、とつても身近に感じて一生けんめい読みました。

潔少年の一年間の吉原での生活や、上原小学校への通学風景がいろいろと語られているので、その時代の生活もわかるように思いました。それにしても、40年前の戦争は、いろいろな人に、苦しみや悲しみや多くのひ害をあたえたことを強く感じました。

潔少年も、そのぎせい者の一人だったので。親のもとをはなれ、友達もない土地へきて、生活や言葉の違った所へきてどんなに心

細かつたでしょう。その上、仲間はずれにされ、意地悪をされて、ほんとうにさみしく悲しくてたまらなかつたことでしょう。

進少年も、1年からずっと級長を通し、みんなから優等生だと思われていたのに、東京の優等生で立派な家のぼっちゃんの相手が現れたのだから、子ども心にも、どうすれば級長の座が守れるかという気になつたのでしょう。それで、あのような行動を取つたのだと思います。でも、手下を使つて潔少年を弱者にしようとするやり方がずるいし、家に帰つても誰にも話

すこともできず、ただがまんしている転校生をいじめるなんてひきようです。

私は、読みながら「潔よ、負けるな。もっと強くなれ。強くなれ」と心で叫びました。よく「負ける者が勝つ」とか、「天は正しい弱きを助ける」とか言いますが、なかなか思うようになりませんでし



た。それでも最後には、進は上野のグループに、その勢力をたたきのめされ、ちよつとかわいそうになりました。

(中略)

潔少年の遊んだ吉原の海は、今は砂浜がなくなり、テトラポットの海と変わっています。けれども、夏は涼しい風が吹き、白いかもめがとび、冬の海は青黒く、空は墨色になり、白い波しぶきをあげるこの日本の海は40年前と変わられません。

4年生まで、私たちの通つていた上原小学校も、5年になつた4月に、となりの青木小学校と合併し、新しく上青小学校となりました。校舎も取りこわされました。

が、潔少年が休み時間、仲間はずれにされ、窓ぎわに立つて友達の遊びを悲しそうにながめていた講堂は今もそのままのこつています。

(中略)

私は、つくづく長い道を楽しく歩けることをふと感じながら、人が人の心をきずつけて悲しませてはいけなことを強く思わずにはいられません。この長い道を、赤や青のアノラックを着た私たち小学生は、道の右はしを一列に並んで足早に歩いています。雪のひどい時は、小さい子を中にはさんで、元気をつけあいながらがんばつて歩いていきます。このまっすぐにのびる『長い道』を……。

私たちの広場

ご意見などを
お寄せください

この広場は――

- ご意見 ●イラストやマンガ ●ゆずります・ゆずってください ●グループの紹介……などに利用したいと考えています。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報係 ☎72-1100内線39



『春を詠む』

イラスト

泉 裕子さん
(上野・18歳)

文部省海外日本人学校派遣教員として、56年4月から、南アフリカ共和国を訪れていた吉崎嗣憲さん(入膳・36歳)が、その勤務を終え、3月12日帰国されました。赴任した同国ヨハネスブルグの日本人学校には、市内に滞在する商社や技術産業の海外勤務者の息子・子女約100人が通っています。



吉崎 嗣憲さん
(入膳・36歳)

“無事、帰国しました”

南アフリカ共和国の

派遣教員を終えて

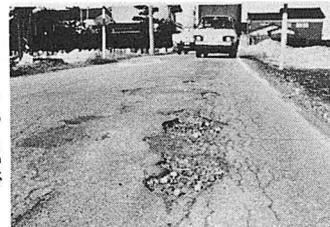
す。
むこうの学校では、小学1年生でも午前8時20分の始業から、午後3時45分の終業まで、6〜7時間の授業をこなしています。
海外勤務者の多くが、いずれ日本に帰ることを前提に、「日本で学ぶ子どもたちに負けないような学力」をと、どうしても吉崎さんら派遣教員に、できるだけハードな学習指導を望みます。
「幸いむこうでは、一クラスの児童数が多くて20人ぐらい。小人数ですから、『何を考え悩んでいるか』が大体わかり、『この子の場合は、こう指導してやろう』と、

一人ひとりの心の中に入ってやるんです。勉強だけでなく、スポーツや遊びなどいろいろな面で。」
吉崎さんの心から離れないのは、帰国も迫った3月3日、子どもと父兄ら75名がお別れの会を盛大に開いてくれたこと。そして、最後の授業となった3月8日、教員が全員涙を流して、別れを惜しんでくれたことです。
「やっぱり泣けてしまった。許されるのなら、『いつまでも残って見てあげたい』と、心の中で叫びました」と感慨深げです。
これから、普通の教員生活に戻る吉崎さんですが、インタビューの終わりに述べた「子どもの心の中に入って教壇に立ちたい」という言葉が特に印象的でした。
滞在中に、潤子夫人との間に一男一女がめでたく出生。今後もよき教師として、よきパパとして張り切られることでしょう。

早く直してほしい 道路の穴

雪溶けも急速に進み、ほっと一息ついています。車を走らせて思うのは、道路が穴ポコだらけなこと。運転しずらくて仕方ありません。

一日も早く道路の整備をして、安心して通行できるようにしてほしいと思います。(青木・一町民)



▶ こういつた穴がよく見られます

できるだけ早く 手当てを

ご存知のように、今年の冬は異様な豪雪で、さらに長期にわたりました。道路の破損は、除雪車の排土板やキャタピラ、そして一般車を含めたチェーンの着用による摩耗が主な原因です。

町では、町内を巡回して、程度のひどいものについてはアスファルト舗装するなど、応急処置をしています。何しろ破損箇所が多いため、「全部一斉に」というわけにはいきませんが、できるだけ早く手当てするようにします。(道路河川係)

グループ登場



影絵などを製作する「わらべの会」のみなさん

「わらべの会」——町立図書館に遊びに来るよい子たちのために、手づくりの紙しばいや影絵を製作しているグループです。林美紀子さん（五郎八・43歳）ら6名が、毎週水曜日の午後、図書館に集まり、こつこつと作品づくりに励んでいます。

林さんらは、57年6月から7月にかけて、婦人ボランティア・子ども育成コースを受講し、「受けただけでは無意味だし、何か自分たちでやれるものを……」と、みんなで相談。たまたま図書館で、年に4回「子ども会」が開かれており、「図書館の人たちと合同で、この行事を楽しみたいものにしていき」と、話がまとまりました。

最初に手がけたのは、この年の暮れのクリスマス会。マツチ売りの少女を影絵で披露したことから、子どもたちの喜びようにピッタリ。

この感激を胸に、58年に入ってから紙しばいにも挑戦。『きんのかちゅう』や、入善の昔ばなしの中から『鬼をおがんだおばあさん』と、画面設定や色ぬりなど、すべてが手づくり。「子どもたちが喜んでくれるなら」と、新しい作品づくりに一生懸命です。

紙しばいや影絵づくりに励む

「わらべの会」

『私の趣味を紹介します』をテーマに、原稿を募集



広報愛読者の紙面参加として、3月号から“読者コーナー”を作ることになりました。一つのことをテーマに原稿を募集し、私たちのコミュニケーションの輪を一層広げたいと思います。

今年のテーマは「私の趣味を紹介します」です。どしどしお寄せください。締切りは毎月10日。

◆投稿される方へ

- ▶ 500字以内。趣旨を変えない程度に直す場合もあります。
- ▶ 匿名は不採用。原稿は返しません。掲載をもって採否の連絡にかえます。掲載作品には謝礼。
- ▶ 住所、氏名、職業、年齢を明記のうえ、役場広報係へ。

私の趣味を 紹介します

山野草に魅せられて……

野坂 まつえさん
(東狐・55歳)



▲春蘭と百両を手にする野坂さん

山野草に心を引かれたのは、人知れずひっそりと野山に咲く、あの可憐な姿からでした。ようやく子育てなどから手が放れ、ほっと一息ついたときは、もう40代になっていました。

お茶の先生や友達と山菜採りに出掛け、私たちは山菜に熱中し、先生は目の前に蕨があつても見えず、ただ山草に夢中といった状態でしたが、いつしか私も山野草の虜になっていました。

雪溶けの谷川に沿って二輪草、シラネアオイ、キヌガサ草、スミレなど、長い冬から解放され、一斉に優しく咲き競う姿に見とれ、何かしら愛しさで感激します。山の近くのお婆ちゃん、私たちの持っている草花を見て「こんなめったくさい花の、どこがいいがけ」と言って笑われます。大切にしていた草花も管理が悪かったのか、粘らして悲しい思いをしたり、また思いがけずきれいに咲くと、友達に根分けして上げたりします。

ある山草会で年に一・二回、弁当持参で観察旅行にも出掛け、いろいろな話題や思い出に、心まで豊かになったような気がします。悩みごとや悲しいことがあるときは、家の裏に出て山野草を眺め、彼女らに話しかけると、いつしか心も和んできます。冬眠中の山野草とともに、もうすぐ来る春を待ちわびる今日のごろです。

今月の さわやかさん

No.4



船田 律子さん

ファミリーレストラン
「木馬」勤務 (吉原・22歳)

「いらっしゃいませ」「どうも有難うございました」。取材で店を訪ねたときも、船田さんは、お客さんの注文や、盛り付けの手伝い、配膳、レジ…と、目の回るような忙しさです。

泊高校を経て、金沢の短期大学を卒業後、昨年4月にこの店に就職。

「1年間の感想は？」との問いに、「日曜がないため、友達と会えないのが残念です。お店に出るときは、清潔な服装はもちろん、常に笑顔を絶やさず、親切でありたいと思っています」と船田さん。

休日には、愛車・赤色のコルサーに乗り、学生時代に過ごした金沢までショッピングに出かけるなど、行動的な反面、林真理子や渡辺淳一の作品が大好きとか。

「コックさんのそばにいてだけで、私も料理がつかれるような気分。お嫁に行ったら、きっと役立ちますネ」と、将来を夢見る船田さんです。

「ペンを持つと、遠い故郷が浮かんで来ました。ヒョウヒョウと松林に鳴る風の音が聞こえ、稲田のむこうから呼んでいる母の声が聞こえてきました。私の書くことはこれしか無い。そう思いました。幾十年経っても、思いがそこへ帰って行くのは、私という個人を形成したすべてがその風土にあり、私自身そこに根を張っているからでしょうか。」

これは、2月に処女出版された佐藤年子さんの「春泥」(近代文芸社刊)の「あとがき」の一節です。著者は入善町田中の出身。魚津西部中学校の教員を経て、埼玉県の小・中学校の教員生活を送り、現在は主婦業のかたわら、創作活動に励んでおられます。

背景にも、著者を生み育てた故郷「田中」が、時には縦糸となり、時には横糸となり描かれています。「わら打ち」「畔塗り」などの農耕作業の細やかな描写に、あるいは登場人物の信仰にすがらない貧しく哀れな生き方などの、今は誰もが忘れてしまったような過去が鮮明に浮かび上がり、読み手の心を当時の世界にぐいぐいと引き込んでいきます。

- 全篇を通して、彼女の故郷に対しての思いやり、慈しみがあふれており、暗い題材ながらも、読後、暖かさが伝わってくるようです。
- 柏原兵三氏の作品とともに、町民のみなさまにぜひお勧めしたい本です。
- | | |
|-------------|-------|
| こぶしの花 | 大日方妙子 |
| 人生ごめんさい | 半村 良 |
| 歌麿殺人事件 | 水野泰治 |
| 若者たちの悲歌 | 石川達三 |
| 一度は有る事 | 上坂冬子 |
| 手とほしの記 | 宮尾登美子 |
| 冠婚葬祭殺人事件 | 赤川次郎 |
| 右も左も蹴つとばせ! | 野坂昭如 |
| うそ、まこと七十余年 | 円地文子 |
| 青春の源流(一)(三) | 森村誠一 |
| 幸福人生まつしぐら | 宇野千代 |
| 女の顔は「請求書」 | 藤本義一 |
| おしん(四) | 橋田寿賀子 |
| 女探偵アガサ奔る | 胡桃沢耕史 |
| ウホツホ探険隊 | 千刈あがた |
| 実りのとき | 三浦朱門 |
| これはヘンダゾプロ野球 | 江本孟紀 |

あなたと図書館

読書は 新しい発見の旅

新着図書案内

編集室

今月の人口		
人口	29,846 (+6)	29,808
男	14,280 (△12)	14,279
女	15,566 (+18)	15,529
世帯数	7,682 (△7)	7,693
()内は前月比		前年同月
3月1日現在住民登録		

▼「高齢化社会の到来」といわれて久しい今日、入善町の老年人口(65歳以上)は、全国・県平均を大幅に上回る率を示しています。そんな中で、「老人福祉センター」が今月6日にオープンします。

▼広い空間の中に、100畳敷きの大広間、11・3坪と8・3坪の大小2つの浴室など、お年寄りが楽しく愉快地過ごせるよう、随所に工夫が凝らしてあります。

▼また、遠隔地のかたが利用しやすいように、現在、「福祉バス」の運行も考えています。

▼利用方法などについては、本紙6ページに掲載しました。何ほともあれ、このセンターを末長く可愛がってくださいね。